

福井市 基本理念
「みんなが学び成長するふくいの教育」

福井市学校教育方針
「学びをつなぐ・未来につなげる」
～「つながる」を大切にしたい学校づくり～

足羽第一中学校区教育
「自らの思いをもち、主体的に学び高め合う児童・生徒の育成」
～校区教職員が協働した授業改善・指導力向上の推進～

＜研究主題＞

子供も教師も“わくわく”する授業づくり
～「わかる・できる」と「伝えたい・聞きたい」を目指して～

令和 8 年度酒生小学校スクールプラン

【教育目標】

主体的に学び、協働する子の育成

【校訓】

正しく
強く
美しく

【めざす児童像】

主体的に考え、正しく判断し行動する子
失敗を恐れず、ねばり強く挑戦する子
美しい心をもち、思いやりのある子

酒生小児童の強み○・弱み▲

- 素直で明るくて、一生懸命努力する
- 時間や規則を守る
- 場に合ったあいさつや返事ができる
- やさしく思いやりがあり、男女仲よく協力できる
- 地域の歴史的遺産を大切にしたいという思いが強い
- ▲指示待ちが多く、自ら学ぶ主体性が弱い
- ▲自己表現が苦手
- ▲多様な考えを出したり広めたりするのが苦手
- ▲自己肯定感が低い

【児童に身に付けさせたい資質・能力】 主体的に学ぶ力 協働する力 自己肯定力

本校の教育的課題への取り組み

- ①主体的・対話的で深い学びの実現
- ②GIGAスクール構想の実現
・ICTの効果的な活用
- ③「午前5時間制」の充実・継続
・対話を重視した学びの推進

【めざす学校像】～支え合い つながる チーム酒生～

- ・安心感と自己肯定感を向上させるチーム酒生
- ・「学びが楽しい」と実感する授業改善に挑むチーム酒生
- ・家庭・地域から応援してもらえるチーム酒生

【めざす教師像】

- ・ほめるをベースに自己肯定感を高める教師
- ・主体的・協働的な授業を追究する教師
- ・学び方を習得させ、協働する力を育む教師

重点 目標	確かな学力の育成 授業改善に挑むチーム酒生	豊かな心の育成 自己肯定感を向上させるチーム酒生	健やかな体の育成 健康増進・体力の向上させるチーム酒生	信頼される学校づくり 地域から応援してもらえるチーム酒生
	①「学びが楽しい」と実感する授業改善 ・「まなびタイム」を活用した基礎・基本の習熟と学び方アイテムの見直し。 ・課題解決学習や、総合的な学習を活用した協働的な学び方の習得。 ・アウトプットする活動を充実させ、語彙力・表現力を高める。 ・努力や成長、よさを認める指導を大切にする。 ・学び方が身に付いているかを年2回振り返る機会を設け、メタ認知と自己肯定感を向上させる。 ・読書、読み聞かせの時間を確保する ②授業改善を推進する研究体制づくり ・「わかった、できた、学びが楽しい」という児童の事実を重視した授業研究の推進 ・校内研修会・研究会の充実(週1回) ・一中校区教育とリンクした授業改善の情報交換	①安心感と自己肯定感を向上させる学級づくり ・学級担任制を基本としながらも、全職員で支え合い、つながりながら、細やかな情報交換と支援体制づくりを進める ・児童アンケートを活用したいじめの未然防止、早期発見、早期対応、早期解決 ・ロング昼休みを活用した温かい人間関係づくり(縦割り班活動の推進) ・福井型ポジティブ教育を導入し、安心して挑戦できる学級・学校風土を育てる。 ・発達段階に応じたキャリア教育の推進 ②当たり前のことができる力の育成 ・凡事徹底(あいさつ・返事・後始末) ・協働しながら課題を解決しようとする心の育成	①健康な生活習慣の定着 ・家庭と連携した基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)の定着 ・歯、目、姿勢の日常的な健康を意識させる指導 ・食に関する知識と望ましい食習慣を身に付ける食育の推進 ・食物アレルギーのある児童への対応強化 ②運動習慣の定着と体力向上 ・校庭での外遊びの奨励 ・体力づくりを目指した体育授業と学校行事の推進 ③危機管理(危機回避)能力の向上 ・登下校指導、交通安全教室、避難訓練等による危機管理(危機回避)能力の育成 ・適正なネット利用や情報モラル育成の指導及び保護者への啓発 ・熱中症、感染症等の対策の徹底	①学校公開と情報発信 ・授業参観、学校行事、学校だより、ホームページによる積極的な学校公開と情報発信 ・保護者との意思疎通や電話・来校者への誠実な対応 ②社会に開かれた教育課程の推進 ・花壇づくり、野菜づくり、歴史探訪、地域活動への参加等地域の素材や人材を活用した教育活動の展開(総合的な学習や地域学習) ・「家庭・地域・学校協議会」での情報交換を生かした学校改善 ③関係学校・園や外部機関との連携 ・中学校区連携の推進 ・学びと育ちをつなげる「こども園」との交流、連携充実 ・児相や特教センター等の関連機関の協力を得た気がかりな児童の対応
	○授業がよくわかる(児童:90%) ○授業に進んで取り組んでいる(児童:90%) ○学び合いの場を確保している(教師:90%) ○ICT 機器の活用を工夫して、わかる授業づくりに努めている(保護者:90%)	○学校が楽しい(児童:90%) ○いじめを見たら大人に知らせたりとめたりする(児童:80%) ○すすんであいさつしたり、場に合ったあいさつをしたりする(児童:90%) ○児童のよい点を認め習慣化する指導(教師:90%)	○学校は安全面について適切に指導している。(保護者:90%) ○学校は食育や健康な体づくりに力を入れている。(保護者:90%) ○ゲームやネット利用等について、使い方や時間のルールを決めている。(保護者:90%)	○保護者へ適切に学校の情報を伝えている(保護者:90%) ○地域に関する体験活動を積極的に取り入れている(教師:90%)

＜業務改善のための取組＞ ・午前5時間制による放課後の効率的活用 ・iPad(Teams)による教師間情報の効率化 ・ペーパーレスの推進 ・C4th 活用による校務の一元化